

令和2年度 第1回 社会福祉施設・法人選考専門分科会議事要旨

- ・日時：令和2年7月9日（木）13:30～16:30
- ・場所：福祉局船場分室研修室
- ・出席者 石田委員、大仲委員、岡田委員、杉村委員、西嶋委員、平田委員、三田委員、山本委員

1 議事について

【議案1】新設法人の設立及び特別養護老人ホームの創設

法人名：（仮称）社会福祉法人 緑修会

施設名：（仮称）特別養護老人ホーム クローバー

所在地：大阪市此花区高見二丁目

・質疑

〈委員からの主な質問等・法人からの回答〉

- 1 外国人採用を行うにあたって、施設では認知症の方が多いという状況に対して、どのようにコミュニケーションをとって利用者との関係を保つのか。
→外国人の中でも意識の高い方はいる。そういった方が職員との関係がうまくいくと、入所者とのコミュニケーションもうまくとれるようになると考えている。まずは職員との関係が重要になると考えている。
- 2 外国人採用は新卒の方を採用するのか。
→中堅職員や経験者の採用から始めてユニットケアの体制をしっかりと固めてから新卒者の採用を考えていきたい。
- 3 法人会議について、施設のランニングコスト等も議題とする会議の第三者委員はどのようなメンバーを考えているのか。
→地域の代表者の方や利用者家族を考えている。
- 4 法人会議は、法人組織の中で理事会や評議員会との関係でどのような組織として位置づけられるのか。
→地域の方が入ってもらえる会議を想定したが、よく練れていなかったなので、改めて理事会・評議員会との関係は整理をしたい。
- 5 習い事や講師によるピアノ教室の低料金実施などは、だれを対象にどういっ

た目的で実施されるのか。

→近所の子どもを集めて地域交流スペースを使って実施すること等を考えているが、詳しいことは決めていない。利用者参加も考えている。実施はしたいと思っている。

- 6 習い事等は法人が計画して実施するのか。

→法人が計画して実施する。入居者も立ち会い、交流を行うことも想定している。

- 7 わかりにくいところもあるので、整理をして示していただく必要がある。

→今様々なアイデアを出し合って検討している最中であり、今後整理をしていきたいと考えている。

- 8 理事長候補者がこれまで携ってきた住まいに関わる事業ということで社会福祉法人による特別養護老人ホームに参画されようとしているが、社会福祉法人は営利目的ではないので、利益は社会福祉事業等に還元する必要がある。その場合、だれを重点に還元することを考えているか。

→職員に対することが一番である。

- 9 施設を一番に考えて職員の処遇を向上させることによって、利用者の処遇を引き上げることにつながるという考え方か。

→そのとおりである。

- 10 年次計画において、役員報酬が計上されていないが、評議員会での決議により計上する予定と考えればよいのか。また、そうだとすれば、収支に影響を及ぼすような高額な役員報酬は考えていないということによいか。

→そういう考え方である。

- 11 施設の建設地は、非常に低い土地で近くに川もある。風水害や地震による浸水により重大な事態が発生しうる地域である。防災の観点から、防災訓練については、年2回だけでなく、職員が避難等についてしっかり身に着けるまで毎月でも行うべきかと考えるがいかがか。

→緊急時の招集も重要と考える。訓練を着実に実施していきたい。

- 12 採用においては、早くから人材を確保できるように準備をしないと人材不足に対応できない。しっかりと採用を行うとともに研修もしっかりやらないと、虐待などにつながってしまうことになるかもしれない。今思っている特養と

実際の特養に大きなずれが生じてしまうことになる。特養を始められるのであれば、よほどしっかりとした考えをもっていただきたい。感想としては、子ども食堂から規模等がまったく異なる特養になったのが、よくわからなかった。

→職員の採用は、容易ではないことは承知している。いろいろなところから集まってくる人材をいかに研修し配置するかが重要であると考えている。7年前の施設立ち上げの経験では、しっかりと採用を行った結果、今も多くの職員が残っている。思いをもって1から施設を作り上げるということを訴えていくことで職員を採用していきたい。

- 13 理事会をしばしば開くことは困難であるが、法人の設立当初は、法人の経営等について話し合う場は必要であると考えている。施設の立ち上げも重要だが経営母体となる社会福祉法人の土台もしっかり作っていく必要がある。この点についてどのように考えているのか。

→法人会議という名称が誤解を与えたと思うが、法人の経営について毎月開催する経営会議といったものは必要であると考えている。名称も含めて会議については考えていきたいと思っている。特養の経営にあたっては、大変な苦勞を伴い、様々なことをやろうと思っても難しいことは承知している。

- 14 これから法人を立ち上げるにあたり、地域の方の協力は不可欠と思う。評議員予定者の地域の方は、具体的に心当たりはあるか。

→あいさつに行った人には、実際に立ち上げてからにしてほしいと言われた。

〈意見交換〉

- ・社会福祉法人の立ち上げについては、十分な理解がなかったように思われた。
- ・法人の考え方として、職員中心ではなく利用者中心の考え方を示してほしかった。
- ・資金的には、大きな問題はないようである。
- ・職員採用においては、どういう施設を作っていくのかをしっかりと決め、また現場の中核となる人はだれかを決めて、その人を中心にしてどのように介護職員が動いていくか具体的に準備をしていくことが必要である。在宅等は次のステップになるのではないか。
- ・実際の特養は、理事長候補者が考えるものとは異なるように思われる。要介護

度のイメージがずれているのではないかと。

- ・少なくとも、社会福祉法人の新設及び特別養護老人ホームの運営の考え方、職員採用計画の具体性、ピアノ教室などと利用者の関わりなど地域との関わり、役員報酬を含んだ資金収支予算内訳表について十分な説明がなされたとは言えないのではないかと。継続協議が適当であると考えている。

・結果 継続審議

【議案２】既設法人による特別養護老人ホームの創設

法人名：社会福祉法人 千歩会

施設名：（仮称）特別養護老人ホーム センぽ東住吉

所在地：大阪市東住吉区住道矢田四丁目

・質疑

〈委員からの主な質問等・法人からの回答〉

- 1 ユニットケアで重要な役割を果たすユニットリーダーの採用はどのように行うのか。

→ユニットリーダーの一部は、法人内の他施設から異動させることも考えている。他施設の状況も見ながら研修も実施し、異動を希望する職員もいるのでうまく調整するなどしっかり準備をしていきたい。

- 2 約３年ごとに施設を新設している中で、理事長は新しい施設で施設長を兼務されるが、本部との兼務で問題はないか。

→必ずしも理事長が法人本部にいないといけないわけではないので、理事長としての役割を果たしていきたいと考えているが、無理があるようであれば見直していきたいと考えている。

- 3 地域の方との関わりはどのように考えているのか。

→生野区では、評議員として２名の方に入っている。平野区では、評議員はいないが、地域密着型特養の関係で地域の方の意見を聞いている。東住吉区でどうするかは前向きに検討したい。

〈意見交換〉

- ・施設長がたびたび変わるのはあまり好ましくなく、もう少し長くやっていただきたいと思う。
- ・概ね問題ないように思われる。

・結果 適格